

香港 輸出者向けガイド(抜粋)

[米国農務省GAINレポート 2025年6月18日](#)

これは米国農務省海外農業局香港農業貿易事務所が作成した「輸出者向けガイド年次報告書」の要旨及びファクトシートを翻訳したものであり、米国政府の公式見解及びデータとは異なる場合があります。

要旨

2024年の香港の経済成長率は2.5%で、大方の予想の下限の水準であった。香港政府(HKG)の当局者らは、観光、投資、経済活動を促進するために多くの対策を講じているが、高い金利や低迷する住宅市場等の逆風に引き続き直面しており、輸入飲食料品の需要に影響を与えている。これらの課題にもかかわらず、香港の輸入規制の透明性、自由港及びアジア地域の他の市場への中継ハブとしての地位、さらに所得の高い消費者の集中により、香港は米国産農産物にとって魅力的かつ競争の激しい市場となっている。米国から輸入される主要な消費者向け農水産物は、牛肉、鶏肉、魚介類、ナッツ類、生鮮果実、ワイン及びスピリッツ並びに様々な調製品(調理済み食品)やスナック食品等である。

ファクトシート

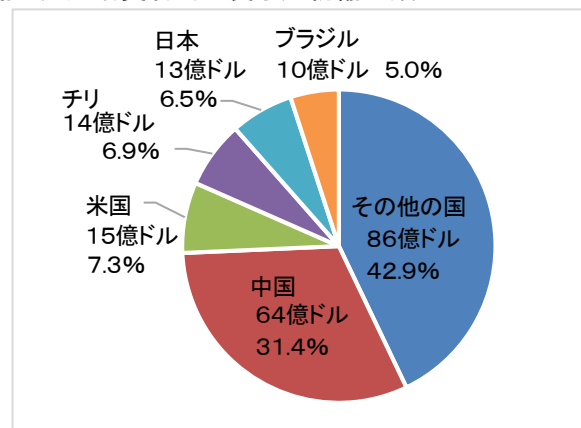
要約

香港の人口は750万人である。2024年の1人当たりGDPは5万4,079ドルで、アジアで最も高い部類に入る。香港は活気に満ちた都市であり、アジアへの主要な玄関口である。消費者は洗練されており、国際人としての生活様式を楽しんでいる。耕作地が限られているため、香港の食料の約95%は輸入されている。2024年の香港の農産物及び関連製品の輸入総額は、2023年と比較して1.0%減の241億ドルであった。

消費者向け農水産物の輸入

2024年の香港の消費者向け農水産物の輸入額は1.1%減の202億ドルで、全農水産物輸入額の84%を占めた。輸入品の上位10品目は、魚介類、生鮮果実、調製品、牛肉、ノンアルコール飲料、乳製品、ワイン、鶏肉、豚肉、ベーカリー製品であった。輸入先上位5カ国は中国、米国、チリ、日本、ブラジルであった。

輸入先別消費者向け農水産物輸入額・シェア 2024年



食品小売業

2024年の香港の食品小売販売額は2.8%減の118億ドルであった。香港の食品小売市場は、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、及び伝統的な市場で構成されている。スーパーマーケットは、食品小売販売額の60%以上を占めている。香港には700以上のスーパーマーケット、1,300のコンビニエンスストア及び100近くの伝統的な市場がある。

食品加工業

香港の食品加工部門は規模が小さい。2024年の世界からのバルク農産物の輸入は7.2%増の3億7,200万ドルで、全農産物輸入額の1.8%であった。中間加工農産物の輸入額は27億ドルであった。

フードサービス

香港には、広範で、影響力があり、活力に満ちたホテル、レストラン及び施設・団体向け(HRI)のフードサービス部門がある。2024年の香港のレストランの収益は2.4%減の141億ドルであった。香港には1万7,154軒のレストランがある。¹

クイックファクト 2024暦年

消費者向け農産物の輸入額 202億ドル(前年比1.1パーセント減) 伸び率の大きい消費者向け輸入農産物上位品目 1)生鮮果実 2)鶏肉 3)畜肉 4)ナッツ類 5)蒸留酒 6)調製品(調理済み食品) 7)乳製品 8)香辛料 9)チョコレート 10)コーヒー	流通経路別食品産業 消費者向け農産物 - 総輸入額 (a) 202億ドル - 再輸出額 (b) 80億ドル - 実質輸入額 (a-b) 122億ドル - 食品小売販売額 118億ドル - レストランの売上高 141億ドル GDP/人口 人口: 750万人 1人当たりGDP: 5万4,079ドル
--	--

SWOT分析

強み - 裕福な消費者のいる開かれた輸入依存市場 - 米国産品は品質が高いと認識されている。	弱み - 参入障壁が低く、競争の激しい市場 - 比較的小さい地場市場 小口の注文と包装への対応が求められる。
機会 - 健康食品とハラル食品のニッチ市場の拡大 - 香港は、他のアジア諸国への貿易/再輸出の主要なハブである。	脅威 - 米ドル高、米国産品の貨物運賃の上昇と輸送日数の増加 - 地元の住民が中国本土で食事や買い物を行う消費形態の流行

データ及び情報の出典: 米国センサス局貿易データ、貿易データモニター、ユーロモニターインターナショナル、香港政府統計處及び香港貿易発展局。特記されていない限り、金額は米ドル。

¹ 香港食物環境衛生署による2025年4月現在の認可レストラン数